



鳥北小だより

学校教育目標「一人ひとりがいきいきと輝く学校」

臨時号
令和5年11月24日



摂津市立鳥飼北小学校

〒566-0052

摂津市鳥飼本町丁目10番1号



保護者・地域の皆様におかれましては、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けて、各教科の指導計画や日常の授業改善に引き続き取り組みます。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

	国 語		算 数	
	正答数	正答率	正答数	正答率
北小6年	9.5/14問中	67.9%	10.2/16問中	63.8%
大阪府	9.2/14問中	65.7%	9.9/16問中	61.9%
全国	9.4/14問中	67.2%	10.0/16問中	62.5%
対全国比	1.01		1.02	

国語 全国の平均正答率と比較して「やや高い」結果でした。

【話すこと・聞くこと】

「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均正答率を上回りました。「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える力や「目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力」が身につけてきたことがわかります。

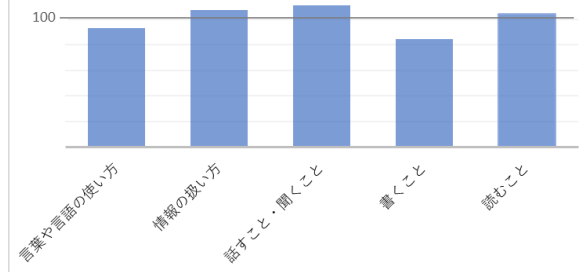
【書くこと】

「書くこと」の領域では、全国平均正答率を下回りました。自分の考えと図表やグラフなどに関連付けて書く力を、国語科をはじめとして各教科の授業で力を入れて指導していく必要があります。

【言葉や言語の使い方】

「言葉や言語の使い方」の領域では、全国平均をやや下回りました。漢字を文の中で正しく使う指導や日常よく使われる敬語についての指導を継続する必要があります。

国語の平均正答率（全国を100とした指数）

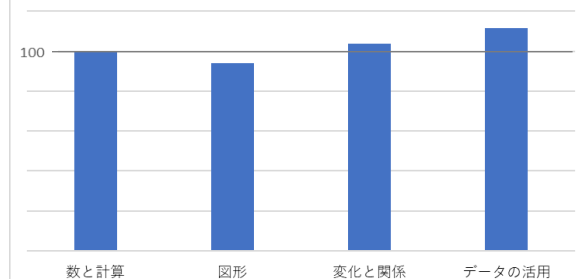


算数 全国の平均正答率と比較して「やや高い」結果でした。

【図形】

「図形」の領域では、全国平均を下回りました。「三角形や四角形など多角形の性質についての理解」や「図形を構成する要素に着目して、図形の面積の求め方を見いだすこと」に課題が見られます。授業の中で、児童が目的意識をもって主体的に取り組む活動を充実させ、筋道を立てて作図の手順を説明する学習に力を入れる必要があります。

算数の平均正答率（全国を100とした指数）

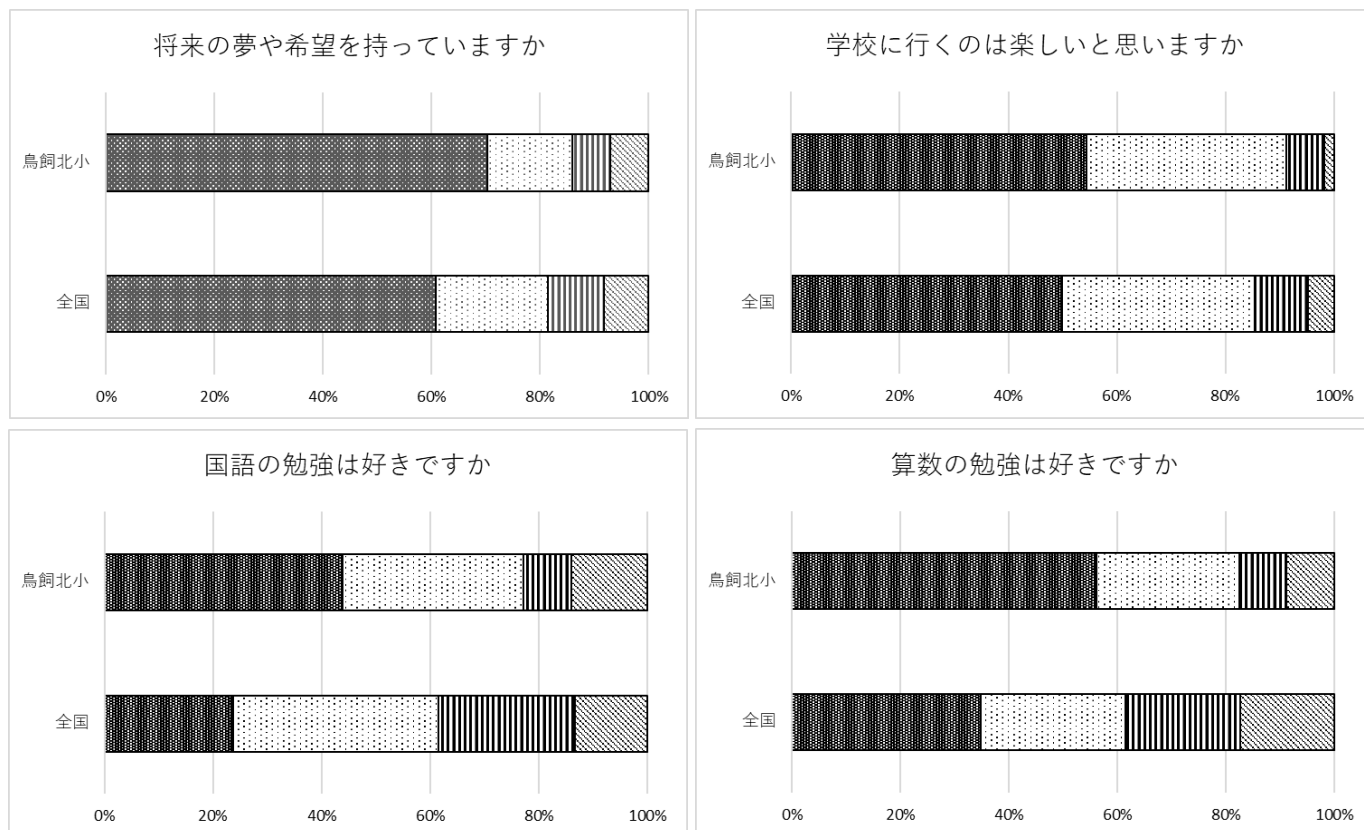


両教科共通して

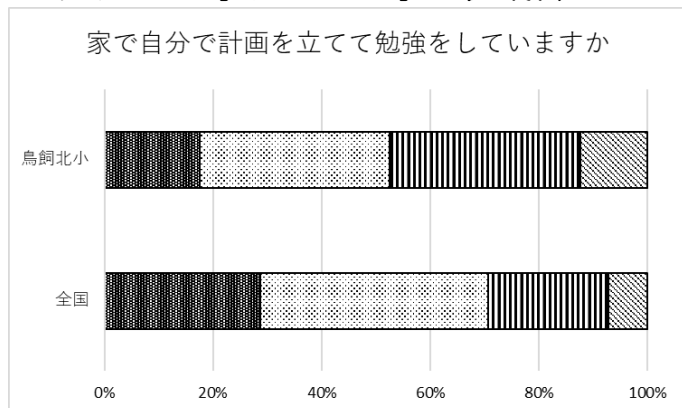
無解答率が全体を通して、全国平均と比較してかなり低い状況です。記述式問題でも書く意欲が高く、最後まであきらめずに取り組む姿勢が見られます。

質問紙調査より

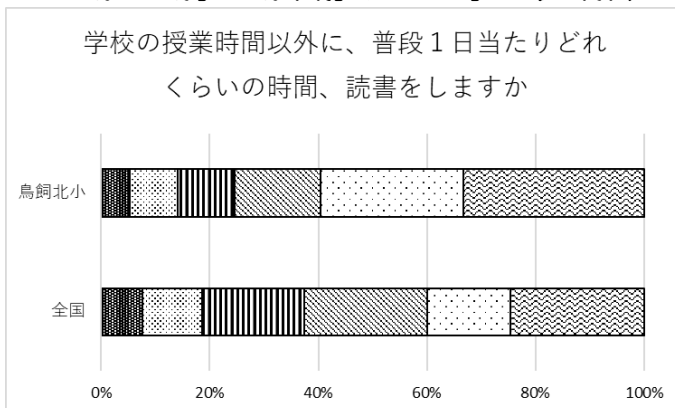
(グラフは左から「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の回答の割合)



(グラフは左から「よくしている」「ときどきしている」「あまりしていない」「全くしていない」の回答の割合)



(グラフは左から「2時間以上」「1時間～2時間」「30分～1時間」「10分～30分」「10分未満」「全くしない」の回答の割合)



児童質問紙調査から、将来の夢や希望をもち、意欲的に学校生活を送っている児童が多いということがわかります。一方で、家庭学習や読書の習慣が身についていないという課題も見られます。

鳥飼北小学校の学力向上の取組み

① 日常の授業の充実・改善

- ・国語科の授業方法の工夫(全学年で指導方法を統一し、系統性を持たせて積み上げています。)
- ・各教科等で、「説明する力」「まとめる力」など、書くこと・言語活動を重視した指導の充実
- ・よりよい自分の生き方や、よりよい社会のあり方を考えて、自分の考えを発表し合う「道徳」の時間の充実
- ・研究授業、相互授業参観等を通しての、授業改善の推進

② 家庭学習、読書の習慣化に向けて(ご家庭でもご協力をお願いします。)

- ・「漢字まつり」や「天下一自学大会」等、テストに向けての意欲を高め、自学自習習慣の定着を図る
- ・「宿題タイム」等を活用し、授業やテストで理解できていない部分を復習し、学習内容の定着を図る
- ・図書室の環境を充実させるとともに、自分が達成できそうな目標をもたせて、読書習慣の定着を図る